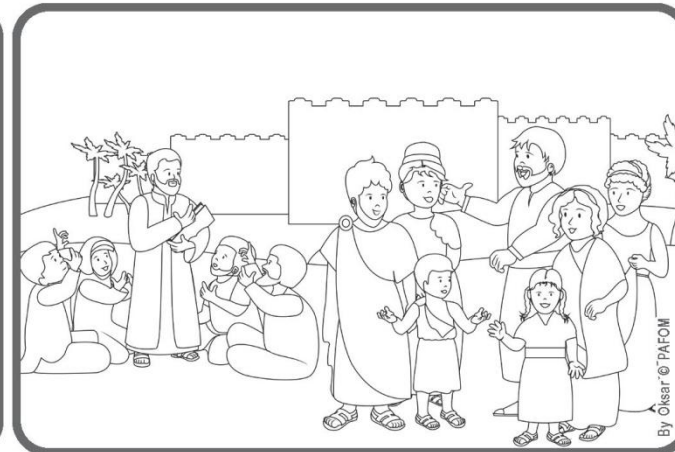
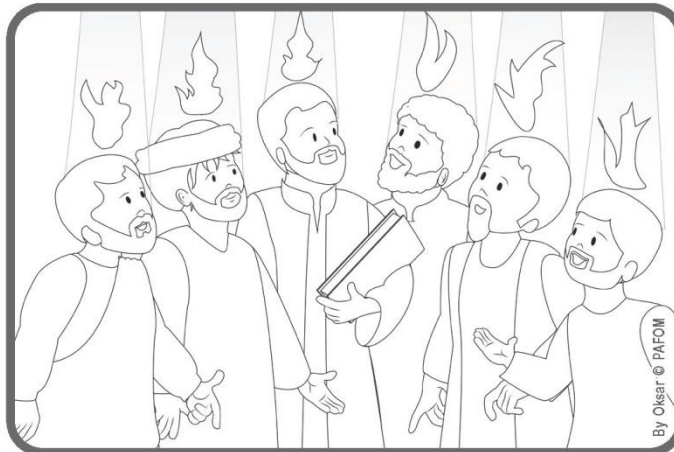
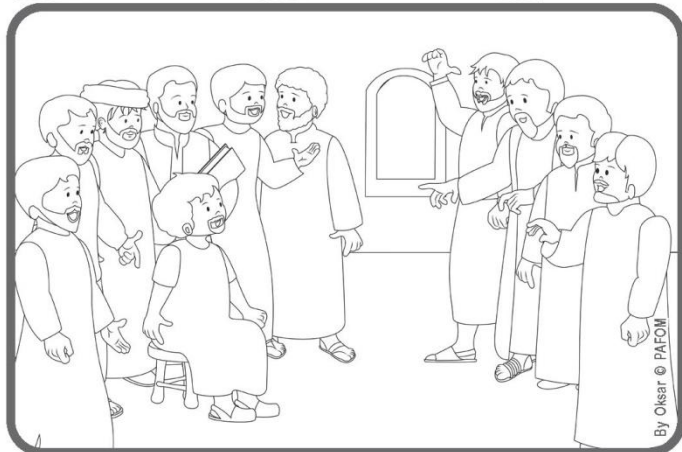




イエスさまは、わたしたちにあいをつたえるためにつかわされました。

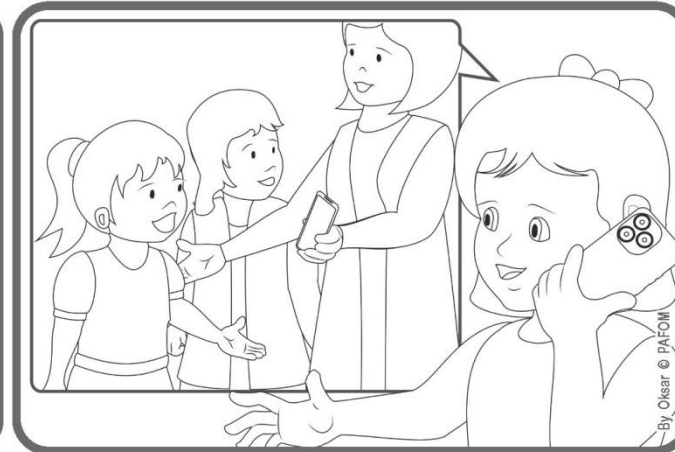
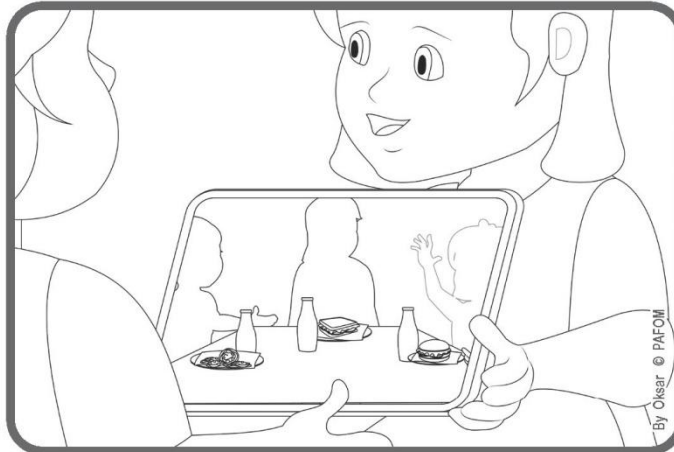
ちちがわたしをおつかわしになったように、わたしもあなたがたをつかわす。
 そういつてから、かれらにいきをふきかけていわれた。「せいれいをうけなさい。」
 (ヨハネ 20・21-22)



しとたちは、イエスさまがなくなったくるしみのあと、ふっかつされたイエスさまをみて、ころがよろこびでいっぱいになりました。イエスさまのおはなしは、ほんとうだったのです。でも、イエスさまはいつもいっしょにいるわけではありません。

ふっかつしてから 40 にちご、イエスさまはてんにのぼられ、ちちなるかみさまのもとへいかれました。でも、ひとりにはしないといわれました。そしてすうじつご、せいれいをおくってくださいました。これがせいれいこうりんさいです。

せいれいのちからがみんなのころにはいりました。みんなは、ふくいんをつたえるじゅんびができました。イエスさまは、「ちちなるかみさまがわたしをつかわされたように、わたしもあなたがたをつかわします」といわれました。



わたしはエルサルバドルのイザベルです。やすみのあいだ、りょうしんといっしょに、ちかくのまちにすむおじいちゃんとおばあちゃんのいえにとまります。いとことあそべるので、いくのがけいすきです。きょねんの12がつには、ほかのおんなのこたちにもあいました。

そのこたちは、おばあちゃんのいえのちかくにすんでいて、まいにちごごになるとあそびにきてくれました。とてもたのしそうで、なかなかかえりたがりませんでした。おなかがすいていることにきづいたので、いつもおやつをよういしました。

クリスマスには、みんなでくいのとくべつなりょうりをたべました。そのこたちはとてもよろこんでいました。イエスさまのあいをつたえることができ、わたしもとてもうれしかったです。いまはとくにいますが、おばあちゃんのはなしでは、そのこたちはいつもわたしのことをきいてくれるそうです。わたしたちはともだちです！